

ちょっと自慢の公民館活動

	市 町 名	西条市
	公民館等名	西条市庄内公民館
		地区館
	連絡先 (TEL)	0898-66-0504
	ホームページアドレス	https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/yakaikyoiku/shounai-index.html
SNS		

事業分野	17 その他	事業名	ハッチョウトンボ観察会
趣旨・目的	ハッチョウトンボの生息環境と生態について現場で実感し、自然環境の大切さを考える。		
対 象	一 般	参加人数	51名

〈 事 業 内 容 〉

1 概要

公民館と『ハッチョウトンボ保存会』との共催事業で、毎年ハッチョウトンボの最盛期を迎える6月の第2土曜日と日曜日に実施しています。当日は、公民館で受付を行い、保存会のメンバーによる説明を行った後、現地に出かけます。

生息地は、当館から約2km離れた山の麓に位置し、保存会のメンバーが定期的に草刈りなどを行い、ハッチョウトンボが生息できる環境の保全に努めています。

参加者は、市内外からやって来ます。親子での参加も多く、終日楽しい雰囲気の中で行っています。

また、羽化の様子をカメラに撮ろうと、早朝（午前5時頃）に訪れる人もいます。

令和5年度は、松山市の『樺二番町句会』のメンバーが最盛期の6月に現地を訪れてハッチョウトンボを俳句に詠み、その俳句を11月開催の「庄内ふれあい文化祭」に出展していただきました。



【観察会（令和5年6月10日）】

- 小さな世界で、精一杯生きているトンボを見て感動しました。（参加者）
- 狭い場所で、最盛期には1000匹以上飛び交うことを聞き大変驚きました。（小学生）
- 保存会の説明を聞き、生息環境の大切さを学びました。来年も参加します。（参加者）
- 観察会を通じて、身近な環境問題についても考える機会になればと思います。今後も継続して実施したいと思います。（主催者）



【雄（全身が真っ赤）】

2 ハッチョウトンボについて

① 形態： 体長18～20mm（5円玉大）

◆雄は、羽化してから数日後で赤くなり、成熟すると複眼まで真っ赤になります。

◆雌は、羽化後淡黄色であるが、成熟が進むと黒の縞模様が際立ってきます。

② 分布： 本州、四国、九州

③ 生態： 平地から丘陵地にかけて湿原・湿地などに生息している。水苔類やサギ草、モウセンゴケなどが生育し、極く浅い水域が広がっているような環境を好みます。

成虫は、5～9月に出現し、雄は縄張りをもちます。